

企画展

「冬から春へ

FROM WINTER TO SPRING



桜杉木立屏風 1972年

2001年1月23日(火) - 4月22日(日)

休館日 ■ 月曜日 (但し、2月12日(月)は開館)
2月13日(火)は休館) 開館時間 ■ 午前9時30分~午後5時 (入館は午後4時
30分まで)

入館料 ■ 一般 500(400)円 / 高大生 400(320)円 / 小中生 200(160)円

()内は20名以上の団体料金

列品解説 ● 1月28日(日) 午後2時~ 学芸員による作品解説

京都府立 堂本印象美術館

立命館大学正門前

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 TEL.075-463-0007

花鳥風月という言葉に代表されるように、古来、日本の画家たちは自然に生きる植物や動物、そしてそのたたずまいを表すことにつとめてきました。とりわけ、四季の表情が豊かなこの国では、その表現は自ずと季節感をも併せ持った多彩なものとなり、人気ある画題としても愛されてきました。京都派の画家たちが、あたかも詩歌を詠むかのようにそれらを表現する様を“花鳥諷詠”といいますが、日本人の自然観を実によく示しているといえるでしょう。

堂本印象もまたその例にもれず、数多くの自然を描いた作品を遺していますが、そのいずれもが、都会として長い歴史を持つ京都に生まれ、育った作者ならではの、洗練された風雅な自然観に基づいています。

本展では、日本の四季の中でも特に自然がドラマティックにその彩りを変える“冬から春”的期間に描かれた作品を取り上げました。花鳥画、風景画はもとより、人物画にも及ぶまでの広範な作品群ではありますが、それぞれの画中に見られる季節感、それは日本人の自然への思いやまなざしにほかなりません。どうぞ御鑑賞ください。



木華開耶媛 1929年

企画展

冬から春へ

FROM WINTER TO SPRING

2001年1月23日(火)–4月22日(日)

休館日 ■月曜日 (但し、2月12日(月)は開館、2月13日(火)は休館)

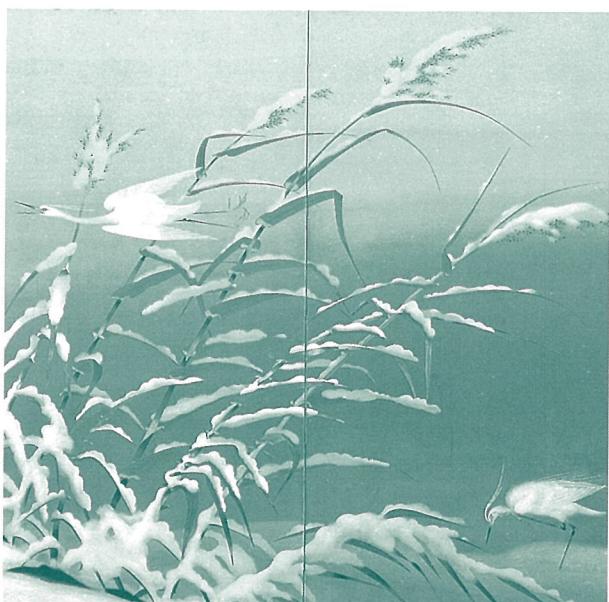
開館時間 ■ 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)



春 1927年



兎春野に遊ぶ 1938年



雪 1930年

京都立 堂本印象美術館

立命館大学正門前

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 TEL.075-463-0007

■ 開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

■入館料 一般 500(400)円
高大生 400(320)円
小中生 200(160)円
()内は20名以上の団体料金

● 交通機關

JR京都駅より市バス⑮、JRバス(立命館大学前経由)、阪急電車烏丸駅より市バス⑯⑮、京阪電車三条駅より市バス⑯⑮⑯、JR円町駅より市バス⑯にて、いずれも「立命館大学前」下車

